

「エコ モビリティ ライフ」推進に係る 平成26年度の取組状況について

1 「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)に関する普及啓発

(1) 「エコ モビリティ ライフ」推進表彰の実施

- ・ 6月3日から8月11日まで「エコモビ」に関する取組や活動を募集したところ、11件の応募があり、学識経験者等で構成する選考委員会で選考を行い、2団体を受彰団体として決定。
- ・ 11月20日開催の「県民の集い2014」で表彰式を行うとともに、受彰団体による取組発表を実施。

受彰団体名	取組・活動の概要
特定非営利活動法人 市民・自転車フォーラム	<p>各種イベントを通じての自転車の楽しみ方、ルール・マナーの啓発など自転車利用を促進する「ライフスタイルの提案」、自転車シェアリングの社会実験や自転車道整備にかかる検討等への参画など「自転車利用環境整備」といった取組を長年にわたり継続して実施し、自転車の利用促進に貢献</p> 
とよはし市電を愛する会	<p>「環境や人に優しい市電を活かした街づくり」をテーマに、各種イベントの開催や機関誌の発行、LRV導入に際しての募金活動など、市民を巻き込んだ特色のある様々な取組を20年以上にわたり継続して実施し、市電の利用促進、市電を通じた地域の活性化に貢献</p> 

(2) 「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2014」の開催

- ・ 「エコモビ」の意義や取組などを広く県民の方々に知っていただくとともに、実践を呼びかけるため、11月20日(木)に愛知芸術文化センターで「県民の集い2014」を開催(参加人数:209名)。

<主な内容>

- ・ 「エコ モビリティ ライフ推進表彰」表彰式
- ・ 受彰団体による取組発表
- ・ 県内で「エコモビ」活動を行っている団体の取組を紹介するポスター等の展示・説明

- ・講演 「公共交通利用で“歩いて楽しいまちづくり”」
講師：小嶋 光信 氏（両備グループ代表兼 CEO（一財）地域公共交通総合研究所 代表理事）



（3）市町村等と連携した実践促進事業

- ・ 県内各地域で市町村や鉄道事業者が実施する公共交通関連のイベントにおいて、啓発用のポケットティッシュやチラシの配布、「エコモビ」に関するクイズ・アンケートや子ども向けのぬりえの実施により、地域住民等に対して「エコモビ」の実践を呼びかけ。

日程	イベント名
5月17日（土）、18日（日）	第8回名鉄でんしゃまつり（名古屋鉄道株式会社）
9月20日（土）	ええじゃないかとはやし カーフリーデー2014（豊橋市）
3月20日（金）	「うらら」＆「エコモビ」達人教室（東浦町）



（4）「あいちエコモビリティライフの日」（エコモビの日）におけるPR及び実践

- ・ 毎月第1水曜日の「エコモビの日」に合わせ、駅やショッピングセンターでの啓発活動を実施。
- ・ 庁内放送やメール・イントラネット等により「エコモビの日」を周知。
- ・ 「エコモビの日」に合わせ、「エコ通勤デー」を実施。



(5) PR資材、広報媒体及び電子媒体を活用した普及啓発

- PR資材（チラシ・啓発グッズ）の活用
 - ・ チラシ（A4判）を配布。
 - ・ 事務所、駅、バス車内等にポスターを掲示。
 - ・ ポケットティッシュ、付箋をPR活動に活用。
- ウェブサイトの更新やメールの配信
 - ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド】にてエコモビの効果や、公共交通機関のお得情報を紹介するとともに、協議会構成員宛てにメールニュースを配信。
- 「エコモビ」紹介動画のウェブ配信、同内容DVDの新規協議会加入者への配付
- 広報誌、会報誌などによるPR・働きかけ
 - ・ 愛知県消費生活情報紙「あいち暮らしっく」108号（10月16日（木）発行）に「エコモビ」PR記事を掲載。
 - ・ 市の広報誌に「エコモビ」PR記事を掲載。
- 庁内放送などによる「エコモビ」実践の呼びかけ
- 新聞、ラジオ、インターネットを通じた、公共交通機関の利用促進や環境配慮についてのPR

(6) キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・ 交通・環境イベントや各種会議、シンポジウムなどを活用し、パネル展示、啓発資材の配布などを実施。
- ・ リニモ沿線地域において、リニモの体験乗車と沿線施設との連携を組み合わせたイベント（夏休みリニモ親子教室など）や沿線ウォーキングなどを開催し、合わせて「エコモビ」をPR。
- ・ 愛知環状鉄道の沿線ウォーキングに合わせて「エコモビ」をPR。

2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

(1) 「エコモビ実践キャンペーン」の実施

- ・ 県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」に自主的かつ積極的に取り組むことで、通勤を含めた業務目的の移動について、全県的に「エコモビ」の実践を推進。
(実施期間) 平成26年11月20日（木）から12月19日（金）まで（30日間）
【12月3日（12月の第1水曜日）を県内一斉「エコ通勤デー」とする。】
(参加対象) 県内に所在する企業、各種団体、官公庁等の事業所

- (取組内容) 1. 「エコモビ」情報の周知・実践の働きかけ【必須項目】
2. 県内一斉「エコ通勤デー」(H26.12.3)への参加【選択項目】
3. エコ通勤の推進【選択項目】
4. 環境に配慮した自動車利用の促進【選択項目】

(参加事業所数) 1, 516事業所

(2) エコ通勤・エコ通学の働きかけ

- リニモ沿線地域におけるエコ通勤・エコ通学への転換促進
 - ・ リニモ沿線住民や沿線大学の学生を対象に、リニモの利用を促す啓発資料を配布し、公共交通を利用した通勤・通学への転換を促進。
- リニモ沿線レンタサイクルの実施
 - ・ リニモ定期券を所持する通勤・通学者及び沿線地域を観光・レジャーで訪れるリニモ利用者（ともに中学生以上）を対象とした「リニモ沿線レンタサイクル」（無料、70台）を実施。
- 職員、社員のエコ通勤への転換促進
 - ・ エコ通勤実践者に対する報奨制度、エコ通勤に関する補助制度の設定。
 - ・ 自転車通勤に転換する際の自転車購入費を一部補助。
 - ・ 職員駐車場の有料化。

(3) 「エコ通勤デー」や「エコ通勤」運動の推進（「エコモビの日」における取組を除く）

- ・ 各市町村や企業・団体において「エコ通勤デー」を実施してエコ通勤を推進。

3 パーク&ライドの普及拡大

(1) リニモ沿線地域におけるパーク&ライドの普及推進

- ・ リニモ「愛・地球博記念公園」駅北側の月極P&R駐車場（246台分、月額1,500円）を沿線市と共同で運営。

(2) 県内各地におけるパーク&ライドの普及推進

- 桃花台線旧車両基地用地におけるパーク&ライド駐車場の運営
 - ・ 本県及び小牧市が桃花台新交通株式会社から取得した旧車両基地用地の一部において、パーク&ライド駐車場（41台分）を設置して運営。
- 店舗利用型パーク&ライドの普及推進
 - ・ 大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク&ライドを県内の3店舗で実施。
- 市町村、交通事業者等によるパーク&ライドの普及推進
 - ・ バスへの乗り換えのため、市役所駐車場を開放（休日）
 - ・ 保育施設に乳幼児を預けてバスを利用する者を対象とした予約制の駐車場を設置する「保育&ライド」の実施。
 - ・ 月極駐車料金と通勤定期のセット割引を実施。

4 公共交通利用の動機付け

(1) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進

- ・ 公共交通マップの配布やコミュニティバスの運行等による公共交通の利便性の向上。
- ・ 公共交通の乗換案内（経路・時刻・料金等）サービスの提供。

(2) 公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ

- ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド（エコモビお得情報）】に公共交通利用者への様々なサービスを掲載。

(3) 交通エコマネー（EXPOエコマネー）の普及促進

- ・ EXPOエコマネーの運営主体であるNPO法人エコデザイン市民社会フォーラムと連携して、「県民の集い」の参加者に対してEXPOエコマネーを発行。
- ・ コミュニティバス利用者にエコポイントを発行し、バスの利用を促進。
- ・ 自社商品券をEXPOエコマネーの交換対象商品とし、エコデザイン市民社会フォーラムに協力。

5 その他

(1) 自転車、徒歩などによる移動の推進

- ・ レンタサイクル事業の実施。
- ・ 自転車道の整備、自転車マップの作成・配布。
- ・ 電動アシスト自転車の貸与、購入費の一部補助。

(2) 環境にやさしい自動車利用の推進

- ・ 公用車としてEV車を購入。
- ・ EV・PHVの普及推進及びEV充電スタンドの設置。
- ・ エコドライブ・アイドリングストップの推進。
- ・ カーシェアリング事業の実施。

(3) ITS（高度道路交通システム）の推進

- ・ ITSの推進を通じ、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上を推進。
- ・ パソコンや携帯電話で閲覧可能なバスの運行状況案内システム（バスロケーションシステム）の運用。